

ベンチャーキャピタリストの活動

2008年6月7日

イノベーション・エンジン株式会社
代表取締役 佐野 睦典

A Leading Venture Capital Firm In Advanced Technologies

Outline of Innovation Engine



イノベーション・エンジン株式会社

- 設立年月日： 2001年1月31日
- 目 的： 先端技術による産業ニューフロンティアの創出を促すエンジンの役割を果たす
- 資 本 金： 11,150万円
- 取 締 役： 佐野 睦典(代表取締役社長)
高城 信義(技術戦略担当)
鈴木 洋一(投資戦略担当)
安田 健(アライアンス戦略担当)
水野 博之(非常勤・元松下電器産業副社長)
- 事 業 内 容： 先端技術の事業化に投資をする「クリティカル・テクノロジー一号ファンド」
「先端技術産業創造ファンド」を運営する。また、投資顧問業も営む。

● クリティカル・テクノロジー一号投資事業有限責任組合(通称:CTFファンド)

設立：2001年9月 ファンド規模：40.2億円 投資社数：25社

出資者：新規事業投資(株)、新光インベストメント(株)、丸紅(株)、オリックスキャピタル(株)、安田企業投資(株)、(株)日本マイクロナクス、富士電機ホールディングス(株)、みずほキャピタル(株)、(株)みずほ銀行、りそなキャピタル(株)など(合計19社。うち事業会社6社)

● 先端技術産業創造投資事業有限責任組合(通称:ATICファンド)

設立：2005年8月 ファンド規模：22.5億円 投資社数：19社

出資者：中小企業基盤整備機構、あいおい損害保険(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)リコー、エーシーベンチャー(株)、コスモ証券(株)、宝印刷(株)、東洋証券(株)、楽天ストラテジックパートナーズ(株)など(合計18社。うち事業会社3社)

● イノベーション・エンジン三号投資事業有限責任組合(通称:IE3ファンド)

設立：2008年1月 ファンド規模：21.4億円 投資社数：2社

出資者：中小企業基盤整備機構など(合計9社)

● 投資顧問業務

登録番号：関東財務局長 第1393号 開始：2005年6月 助言金額：7.0億円

投資顧問対象：上場期待日本株ファンド(運営会社：(株)ファンドクリエーション)

戦略的投資領域

日本優位の先端技術により生み出される産業ニューフロンティア。

成長ステージ別投資対象

シード、 スタートアップ、 エクспанション、 ミドルステージ、 にバランスよく投資を行い、収益性と確実性を追及する。

有望案件の発掘ソース

- ・ 8名のベンチャーキャピタリストが有する幅広い人的ネットワークを活用する。
- ・ 発掘ソースに、以下の三つがあり、それらをバランスよく発掘、投資する。
 - 大学発ベンチャー(主にシードステージ)
 - 大企業スピンオフ(主にスタートアップステージ)
 - 独立系中堅・ベンチャー企業(主にエクспанションステージ)

先端技術から生み出される産業ニューフロンティア

実現する 社会イメージ	より人間らしさを実現する ロボットとの共生社会	安全・快適・楽しさ・省資源の 自動車活用社会	健康・活力・やすらぎと 省資源を実現する衣食住生活
	いつでもどこでも 便利・創造・感動の情報社会	高技術による気配りで 長寿・健康社会	持続的発展可能な 環境・エネルギー社会
製品	ユビキタスIT	医療・健康	クリーンエネルギー
デバイス	半導体	光デバイス	MEMS / NEMS
材料	先端材料		
技術	超精密計測	超微細加工	ナノデザイン

投資手法

- ・ リードインベスターとして投資を行う。
- ・ 投資先には社外取締役で入り、経営体制の強化を推進する。
- ・ 営業支援、企業提携、経営陣採用など、成長加速支援を積極的に行う。

出資者との緊密な関係

- ・ 出資者と事業会社との間で開発、生産、販売などの事業アライアンスを積極的に推進する。
- ・ 出資者が金融機関の場合、投資先企業に対しコ・インベストメントの機会を提供すると共に、投資先企業との関係緊密化(投資先への銀行融資あるいは証券主幹事などのご紹介)を支援する。

強力な投資チーム

技術探索・ 評価	技術開発	事業開発	経営開発	財務開発
-------------	------	------	------	------

高城 信義 (インベストメント・パートナー)

中野 譲 (インベストメント・マネージャー)

長江 義和 (インベストメント・マネージャー)

前田 英史 (インベストメント・マネージャー)

白鳥 陽介 (インベストメント・マネージャー)

安田 健 (インベストメント・パートナー)

鈴木 洋一 (インベストメント・パートナー)

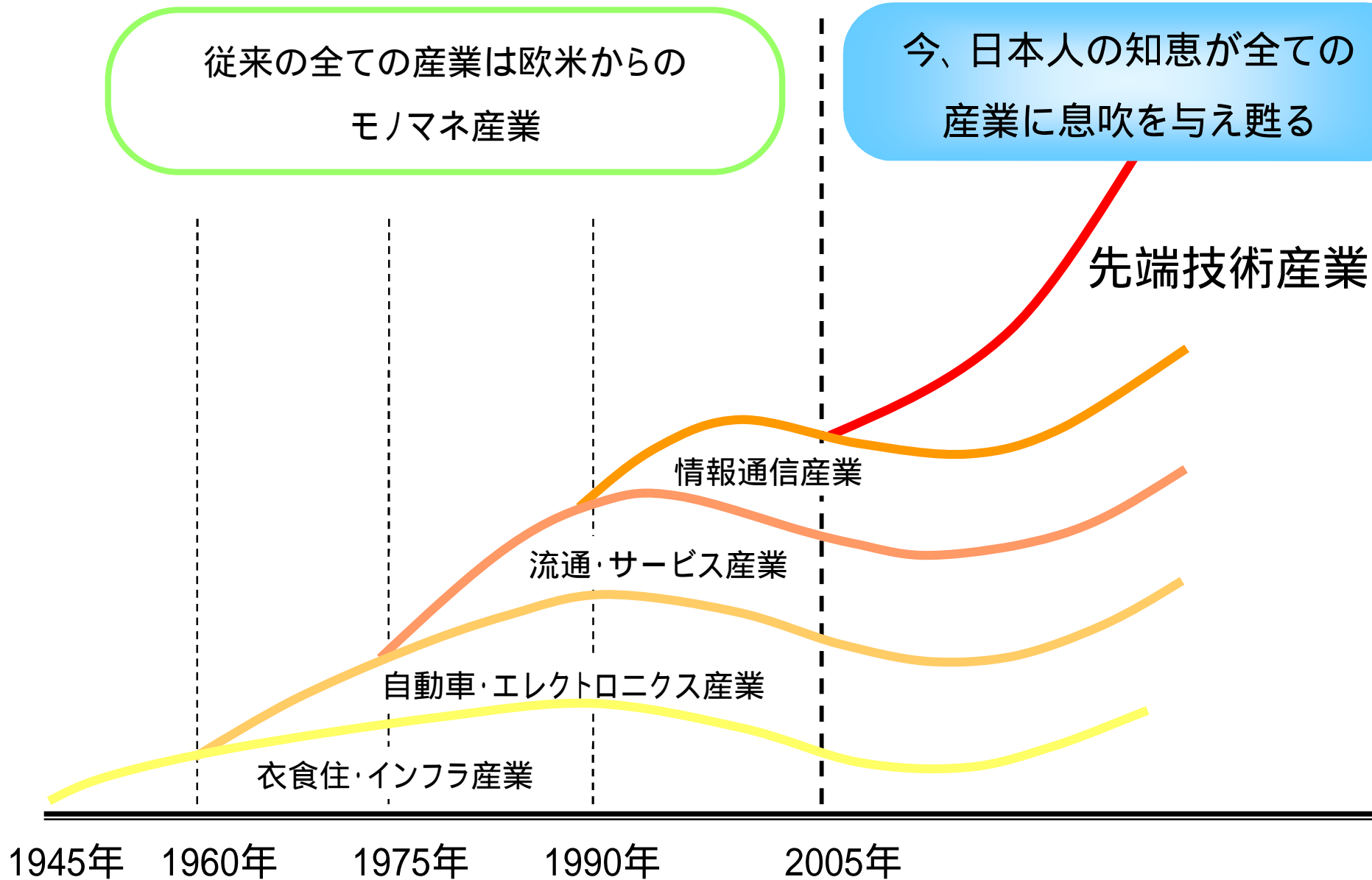
佐野 睦典 (インベストメント・パートナー)

Investment Policy

先端技術産業は日本経済再生の鍵

従来の全ての産業は欧米からの
モノマネ産業

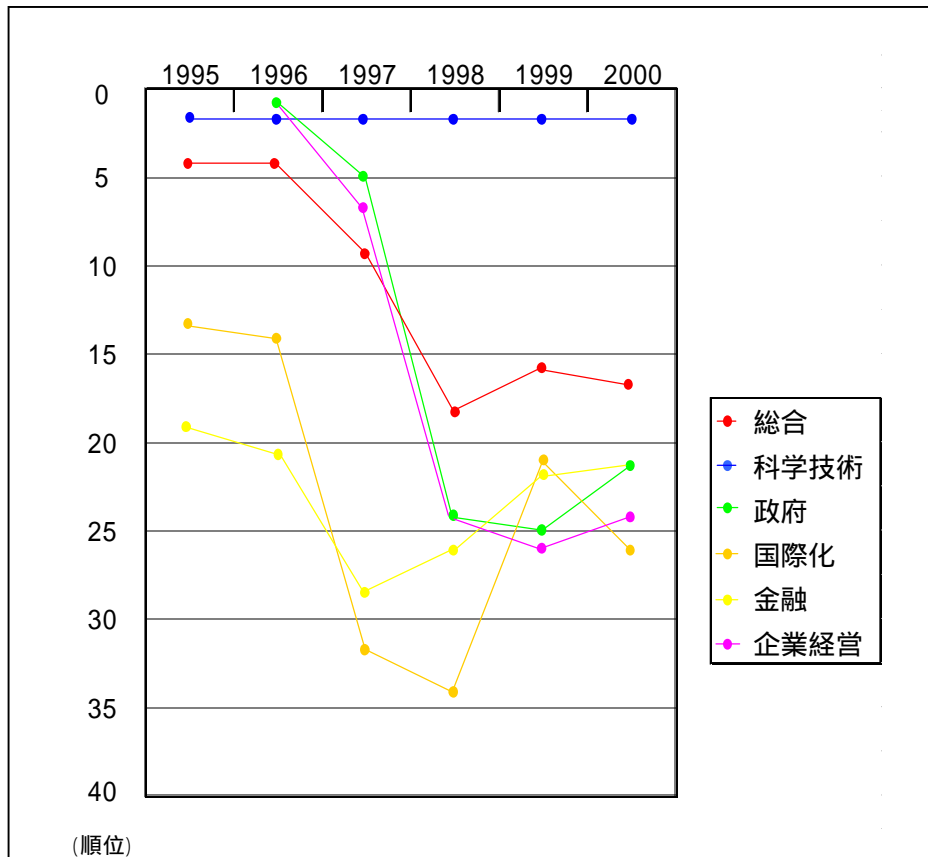
今、日本人の知恵が全ての
産業に息吹を与え甦る



先端技術産業こそ日本のコアインダストリー

日本の得意技は科学技術

世界の先進国中、日本が最も誇れるのは科学技術で、米国に次ぎ世界2位をキープ。無資源日本にとって最大、唯一の活用すべき資源である。

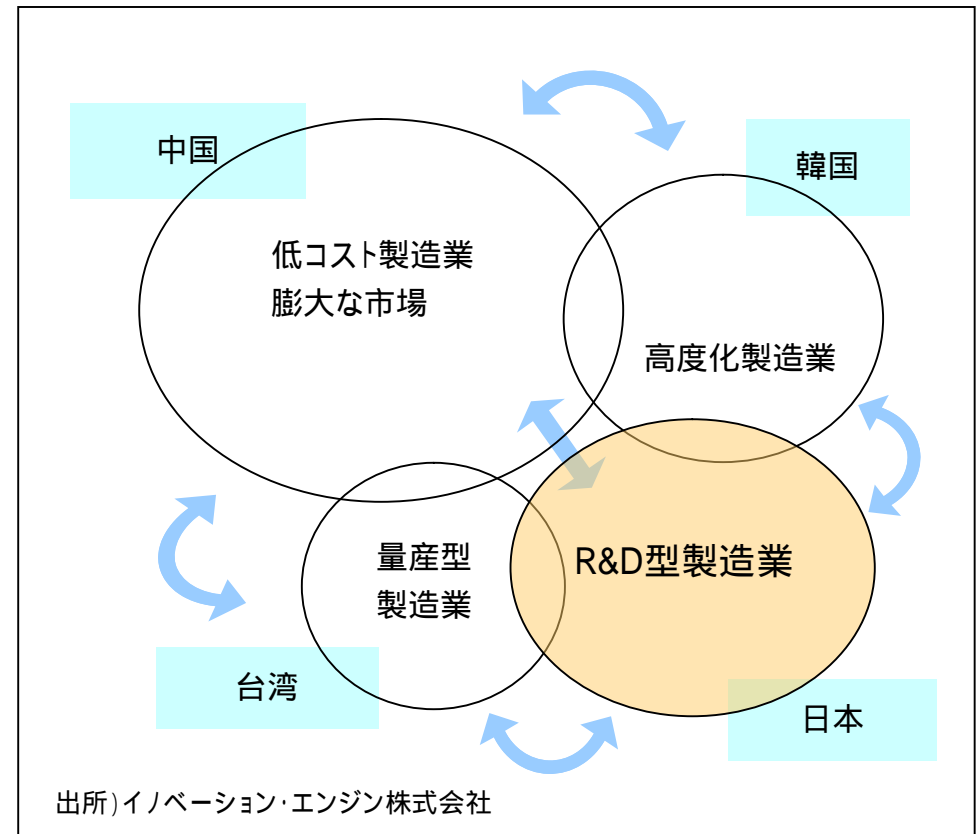


出所) 北陸先端技術大学院 亀岡秋男
「JAIST - MOTコースの新設と国際産学MOT連携ネットワーク」

日本は東アジア製造業クラスターの中核

東アジア地域は、日本を頂点とする重層的な製造業クラスターを形成している。更に市場面でも、最も厳しい日本市場から膨大なスケールに発展しつつある中国市場までを抱える。

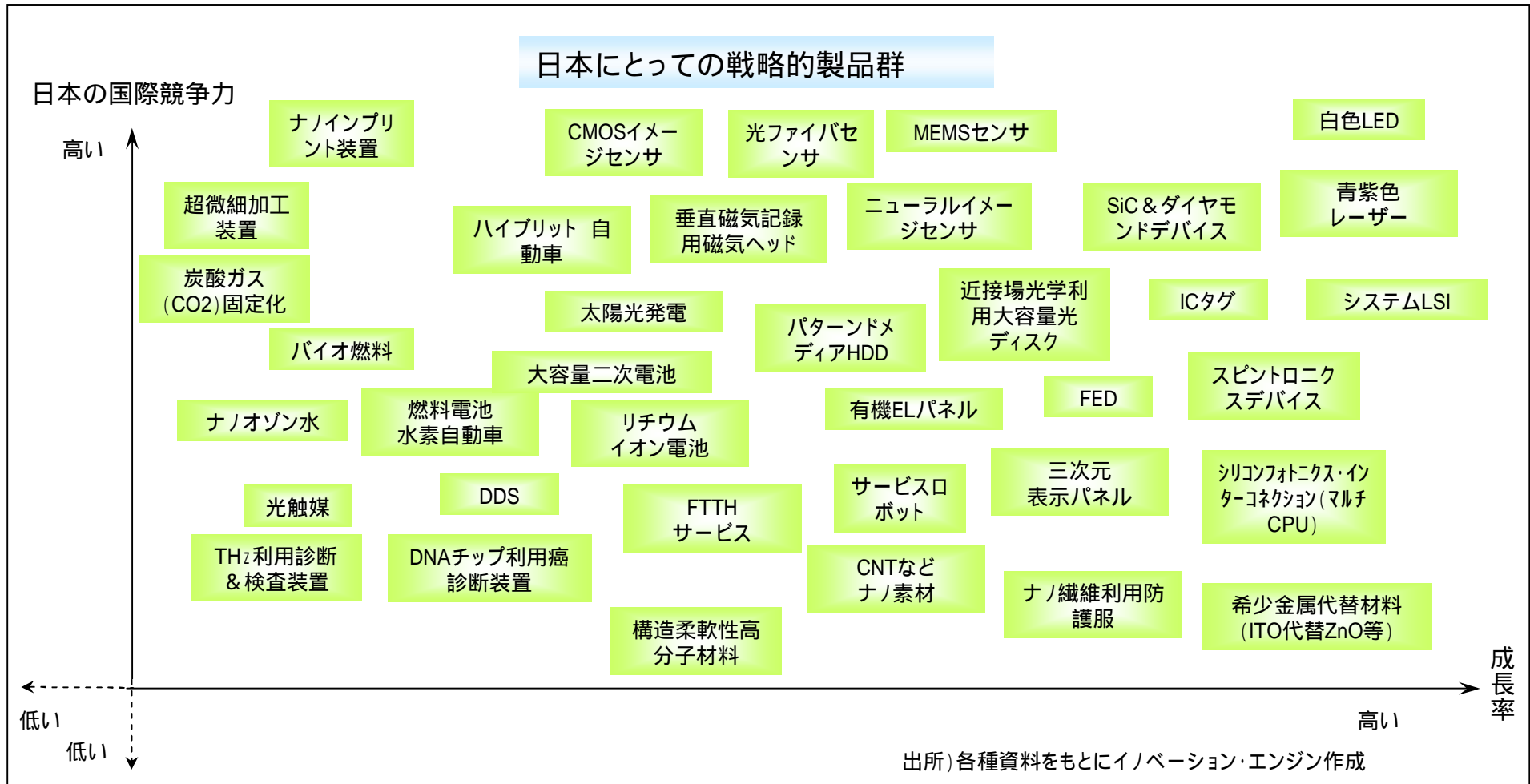
その需要と供給の相互作用により、世界で最もダイナミックで強力な製造産業の創出地帯となる。



出所) イノベーション・エンジン株式会社

伸びる分野はすべて先端技術製品

我々が考える日本にとっての重要な製品群のほとんどは、ナノテク、オプトテクなどの先端技術を活用した製品である。当社ファンドの投資先もこれらの領域に重点投資している。



増加する先端技術ベンチャー企業の新規上場

先端技術ベンチャー企業の株式上場が、近年増加傾向にある。

07年も全体の新規上場会社数が30%以上減少する中、10月時点ですでに前年の数を大幅に上回ってきている。

最近上場した先端技術ベンチャー企業一覧

(単位:百万円)

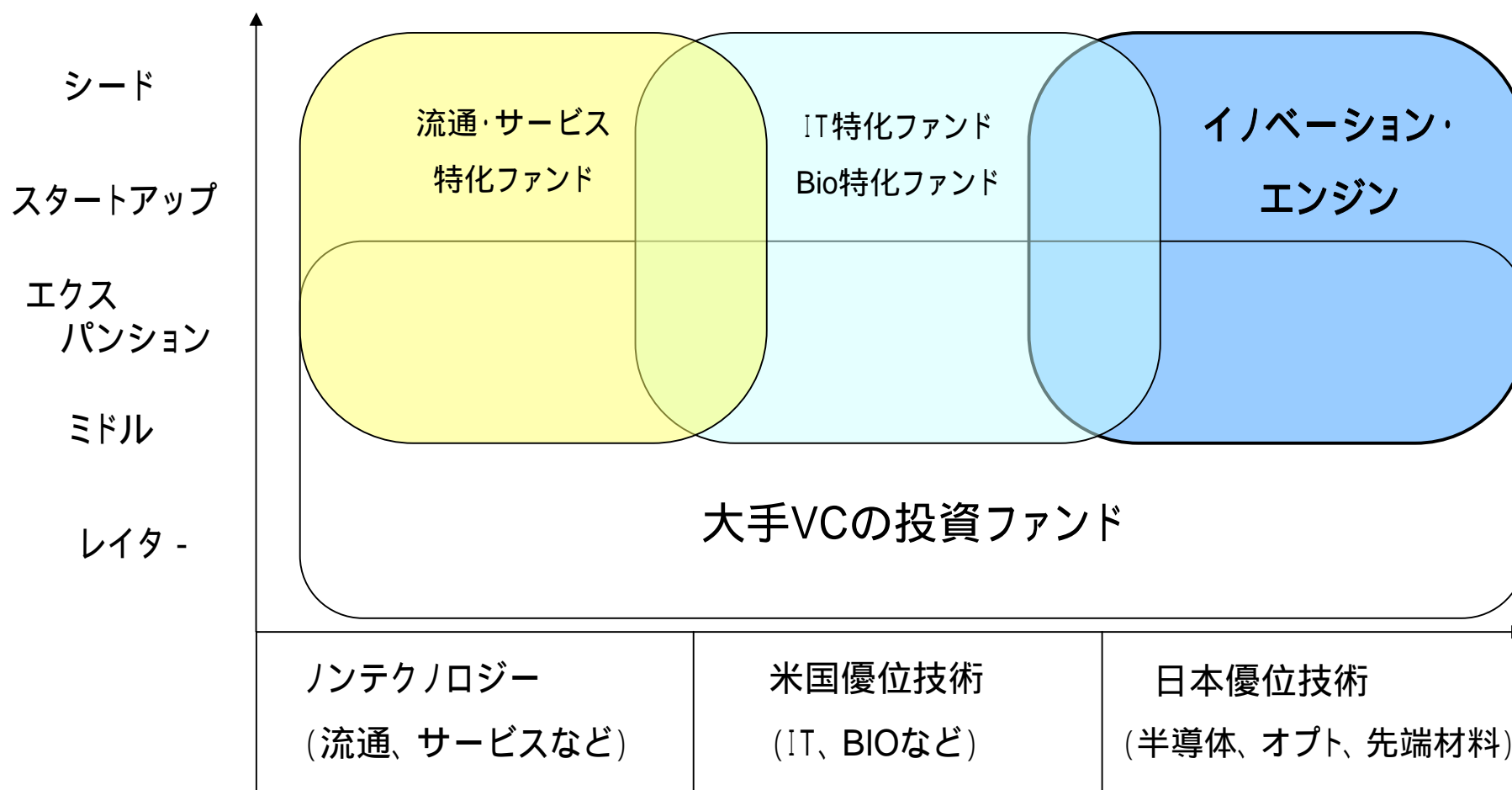
上場年	企業名	設立年月	上場年月	事業内容	売上	税引利益
05年	メディシノバ・インク	00年9月	05年2月	米カリフォルニア州に本社置く創薬型ベンチャー。喘息薬、中枢神経系領域に強み	0	35
	(株)ホロン	85年5月	05年2月	電子ビームを用いた半導体フォトマスク用寸法測定装置でトップ	556	398
	(株)和井田製作所	46年10月	05年6月	特殊研削盤の中堅。成形研削盤で国内シェア6割。超精密の半導体ウエハ向け育成	6,839	811
	メディキット(株)	84年9月	05年6月	人工透析用留置針でトップの使い捨て医療機器メーカー。製造は全量の子会社が担当	11,574	1,809
	ミライアル(株)	68年7月	05年7月	半導体材料のシリコンウエハ容器メーカー。大口径300mmウエハ搬送容器で世界首位	12,376	2,656
	IMV株	57年4月	05年7月	振動の試験装置・計測装置メーカー。動電式国内首位。世界で3位に入る	4,953	329
	オプテックス・エフエー(株)	07年2月	05年8月	F A用光電センサーが主力、生産外注のファブレス経営	3,302	308
	(株)テクノマセマティカル	00年6月	05年12月	独自開発の技術による画像・音声処理向けソフト・ハードウェアの開発・販売	692	41
	(株)プロデュース	96年4月	05年12月	電極塗布装置と計測装置が柱。独自技術による製造工程革新を標榜。搬送制御技術も得意	5,885	410
9件					メディシノバ (単位:百万ドル)	
06年	(株)ボラテクノ	91年7月	06年3月	中小型液晶向け偏光フィルム、プロジェクター用部材が柱。染料系技術に特徴	24,509	9,411
	東洋炭素(株)	47年7月	06年3月	等方性黒鉛の先駆者、世界シェア3割とトップ。原料調達から製造・加工までの一貫生産に強み	31,381	4,439
	クラスターテクノロジ(株)	91年4月	06年4月	複合材料や微細加工技術を基に電子精密部品や樹脂成形部等を製造。ナノテクノ指向	824	92
	(株)アドテックエンジニアリング	83年10月	06年4月	電子回路を基板に焼き付ける露光装置メーカー。プリント配線板用に特化	8,184	600
	(株)ファーマフーズ	97年9月	06年6月	機能性素材を食品メーカーなどに販売する。鶏卵抗体やギャバが主力	1,200	105
	(株)アテクト	69年4月	06年6月	半導体保護資材で世界シェア70%。衛生検査器材では国内3位グループ	3,065	103
	インスペック(株)	91年6月	06年6月	半導体検査装置メーカー、TABテープ主体。液晶TFTアレイ検査装置が成長	2,031	286
	(株)ナノテックス	02年6月	06年7月	光計測装置、情報機器、精密計測装置が3本柱。光学測定技術に特徴	951	84
	(株)フルヤ金属	68年8月	06年9月	希少性の高いプラチナグループメタルを用いた工業用器金属製品製造	19,131	441
	大崎エンジニアリング(株)	90年4月	06年11月	F P D関連装置メーカー。プラズマ用実装装置やCOF実装装置で国内首位	10,112	1,048
	(株)マルマエ	01年4月	06年12月	液晶・半導体製造装置の部品加工メーカー。太陽電池向けが成長中。高精度の大型品に強み	930	84
11件						
07年 (1~10月分)	(株)インクエスト	03年10月	07年2月	中小型液晶検査装置で世界シェア首位級。特に携帯電話の液晶用に強い	601	52
	FCM(株)	49年6月	07年2月	電線用伸線、金属メッキ、フィルム・特殊機能材の3本柱経営	27,736	308
	(株)免疫生物研究所	82年9月	07年3月	研究用試薬等の製販・受託。実験動物の輸入販売も	1,533	105
	(株)ソリトシステムズ	79年3月	07年3月	映像配信システムの構築・運用とセキュリティ対策ソフトが柱	19,197	899
	(株)シスウェーブ	70年12月	07年3月	半導体テスト開発の受託。独自の試験評価システムも	2,278	205
	寺崎電気産業(株)	80年4月	07年3月	船用・産業用配電制御システムメーカー。船用では世界トップ級技術。医療装置も手掛ける	36,782	2,021
	(株)ミマキエンジニアリング	81年5月	07年3月	広告・看板向けインクジェット(IJ)プリンタで世界首位級	23,337	771
	(株)ニューフレアテクノロジー	97年10月	07年4月	半導体製造装置メーカー。東芝機械から02年分社。電子ビームマスク描画装置で世界シェア首位	23,062	1,140
	日本テクノ・ラボ(株)	89年1月	07年5月	産業用特殊プリンクに特化した制御システムソフト開発・販売が主	975	67
	(株)エヌ・ビー・シー	92年12月	07年6月	太陽電池製造装置メーカー	4,189	351
	(株)ネットインデックス	84年4月	07年6月	P H S 端末のファブレスメーカー	7,431	197
	(株)トリケミカル研究所	78年12月	07年8月	半導体製造に不可欠な特殊化合物製造。半導体精算動向の業績影響大。米インテルが主要株主	2,701	190
	(株)ジーエヌアイ	01年11月	07年8月	バイオ創薬ベンチャー。アジア特有疾患を標的。ゲノム解析に強み	247	933
	野村マイクロ・サイエンス(株)	69年4月	07年10月	超純水製造装置の設計・施工・販売とそのメンテナンス、ならびに消耗品の販売	27,221	1,074
	テクノアルファ(株)	89年12月	07年10月	半導体製造装置、電子・材料機器、マシン・環境機器の仕入れ・販売	2,727	140
15件						

：イノベーション・エンジンが運営するファンドの投資先企業

Hands On and Alliance

VC業界唯一のポジショニング

- ・大手VCは分野にとらわれず、エクспанションからレーターステージに満遍なく投資をする。
- ・シード～エクспанションにおいては、IT特化やBio特化ファンドが、それぞれ数社ずつ存在する。
- ・日本優位の先端技術に特化するファンドは、当社の投資ファンド以外に本格的なものはない。



戦略面の支援

- 事業モデル、基本事業戦略の立案
 - ・収益モデル、事業展開、アライアンス
 - ・知財戦略、開発戦略、営業戦略、財務戦略
 - ・事業計画、資本政策の作成
- 経営への参画
 - ・取締役(非常勤)の派遣(インベストメント・パートナー)
 - ・CEOの派遣(ベンチャー・パートナー等)
- 経営幹部の紹介
 - ・CFO、CTO、営業責任者、技術開発責任者等
- アライアンス・パートナーの紹介
 - ・共同開発: 国内外の大学、研究機関、大企業、ベンチャー企業
 - ・販売提携: 商社、大企業、海外企業
 - ・製造委託: 大企業、ベンチャー企業
- 資金調達の支援
 - ・事業説明会の開催、VC / 金融機関 / 事業会社等の紹介

主なハズオン活動の事例

ジーエヌアイ

2001年設立。九州大学、東京大学医科
 開発の創薬ベンチャー。のちにケンブ
 リッジ大学教授、中国のバイオベン
 チャー企業の経営陣が創業者として参
 画したグローバル・ベンチャー企業。
 2007年8月にマザーズへ上場。

- ・会社設立前の資金提供 (CPN)
- ・事業計画作成の支援
- ・コ・リードキャピタルの紹介
- ・取締役 (非常勤) を派遣し、経営に深く関与
- ・リードキャピタルとして複数回の出資
- ・資金調達の支援 (海外VC / 金融機関の紹介)
- ・人材の紹介 (管理部門)
- ・共同開発先の紹介
- ・証券代行会社の紹介

ナノロア

2003年設立。元大手エレクトロニクス企
 業の研究者、元米国のベンチャー企業
 のCEO等が設立した液晶技術の開発企
 業。大手液晶パネルメーカーへの技術
 ライセンシングが主業務。
 2007年12月期決算基準で公開申請予
 定。

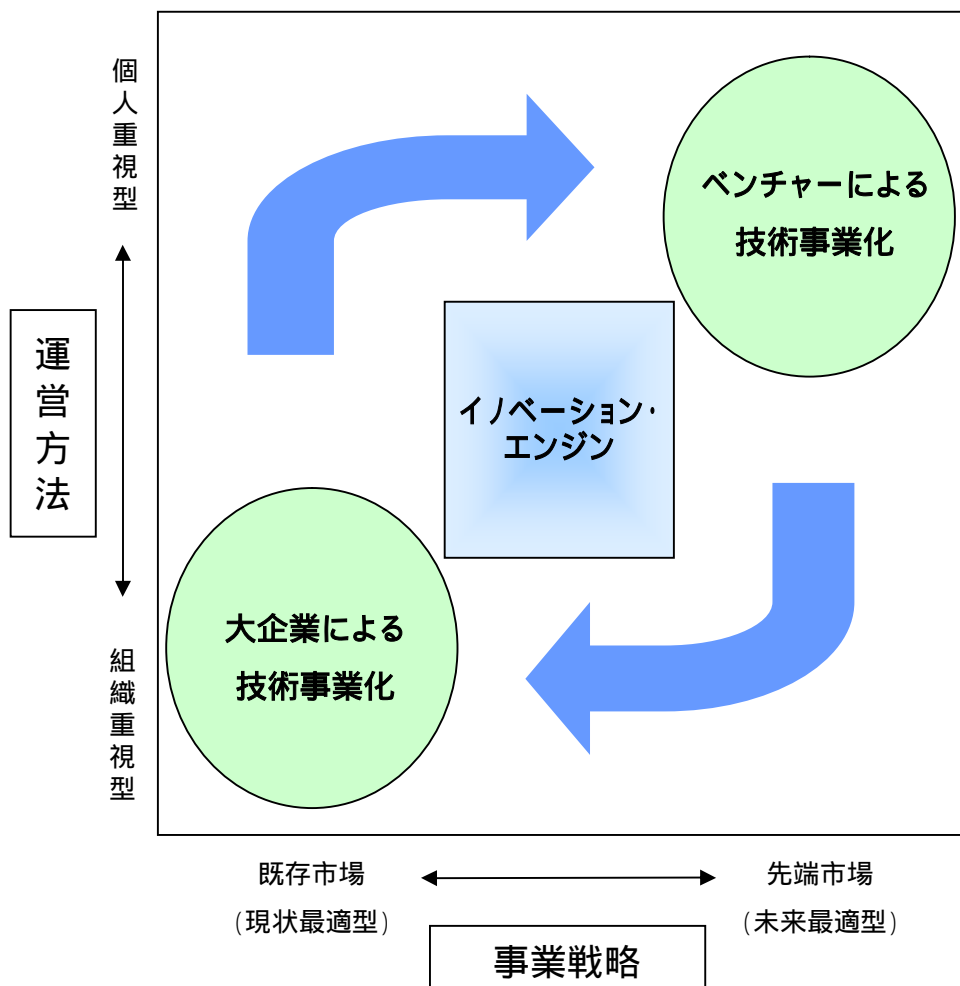
- ・会社設立の6ヶ月前から共同で事業計画・
 資本政策を作成
- ・会社設立時の発起人
- ・代表取締役 (現在は取締役 (非常勤)) を
 派遣し、経営に深く関与
- ・リードキャピタルとして複数回の出資
- ・資金調達の支援 (国内VC / 金融機関の
 紹介)
- ・人材の紹介 (管理部門等)
- ・共同開発先の紹介
- ・監査法人、証券代行会社の紹介
- ・IWが管理部門を支援

フィルテック

2001年設立。元富士通の研究者、国家
 プロジェクトの成果を元に独立、当社を
 設立した。当初は先端技術に特化した
 が、昨年より顧客のソリューション重視
 に転換、収益が急速に向上。
 2007年12月期決算基準で公開申請予
 定。

- ・取締役 (非常勤) を派遣し、経営に深く関
 与
- ・リードキャピタルとして複数回の出資
- ・資金調達の支援 (国内VC / 金融機関の
 紹介)
- ・事業戦略の重点化と組織戦略、人材採
 用に深く関与
- ・経営人材の紹介 (営業、企画部門等)
- ・戦略的顧客とのアライアンス実施
- ・共同開発先の紹介
- ・監査法人の紹介
- ・IWが管理部門を支援

イノベーション・エンジンの果たす役割

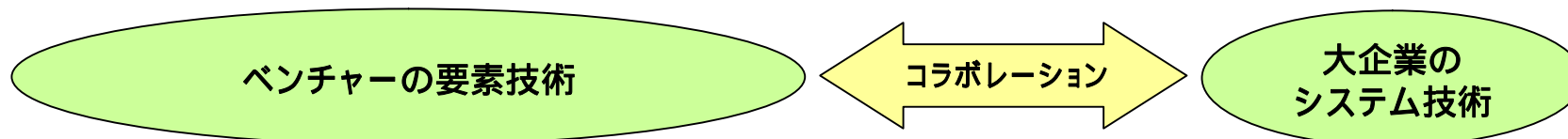


大企業とベンチャーの特性による役割分担

	大企業	ベンチャー企業
行動原理	ローリスクミドルリターン	ハイリスクハイリターン
事業戦略	大規模事業を中核に据える。現在最適型になりがち	ニッチ事業を中核に据える。未来最適型の可能性
ブランド信用力	高い・厚い	低い
販路生産力	広い・大きい	小さい
財務力	安定	不安定
知的資産	大きい	一分野に集中
開発力	大きい(活力が低下)	一分野に大きい
経営コスト	高い	低い
意思決定	遅い	早い
人的活力	低い(低インセンティブと低い仕事の達成感)ただ、大きな舞台での活躍の場	高い(高インセンティブと高い仕事の達成感)ただ、小さな市場や下請化懸念

大企業とベンチャー企業のアライアンス事例

投資先ベンチャーの持つ要素技術と、大企業が有するシステム技術のアライアンスによる創造的事業開発の推進



ディスプレイ&イメージング革命

偏光イメージング

(株)フォトリテック 3D
フォトリテック結晶チップの製造技術

コラボレーション

リコー等

超高速ディスプレイ

ナノア(株)
次世代超高速液晶材料・プロセス

コラボレーション

大手液晶メーカー

ナノ計測・加工革命

次世代DVDマスタリング装置

(株)クレステック
電子ビーム加工技術

コラボレーション

大手精密機械メーカー

動画型SPM

(株)生体分子計測研究所
生体分子計測技術

コラボレーション

オリンパスなど

Challenges and Plan



Challenges and Our Plan

- IPO will be down trend in Japan for mid-term (strict regulation, cool down of stock market)
- IPO and M&A(incl. Business alliance)
- Investment in not only venture companies but listed companies. IE will become top investment company in advanced technologies.
- IE will support small-cap advanced tech companies to develop all over the world regardless of unlisted or listed.